

# ライフスタイル

# ママ



田 實

75-

## 入園準備

# みんなの



親にとっても初めての幼稚園生活なら、不安も多いかもしれない。育児情報誌milk編集長の高祖常子さん(53)は「ママが心配しすぎると、子どもも不安になってしまおう」という。

分らないこと、心配な点があれば、事前に園に確認したり、先輩ママに尋ねたりして、できるだけ不安を解消しておくことが大切だ。園生活がスタートすれば先生や、親同士の付き合いが始まる。近年、晩婚、晩産化が進み、

親より先生の方がずっと若いことも多く、先生の対応に不満を抱く親も少なくないという。高祖さんは「例えば子どもとの接し方が気になったら、子どものいないところで『私はこう思います』と自分の感想として伝えてほしい。親の態度を子どもはよく見ています。先生には敬意を払い、お任せするところは任せて」と話す。「保護者対応に追われ、子どもと向き合う時間が確保できなければ本末転倒です」行事や保護者会など親がか

## 心配事は事前に聞いて解消を

かわる活動も、できれば参加したい。かかわることで園の生活がよく分かり、友達もできるからだ。付き合いが広ければ、子どものこと、地域のことなど情報をキャッチしやすくなる。父親もかかわれるよう、心がけるのも大切だ。

一方、「ママ友」付き合いでストレスを抱える親も少なくないという。グループ化し「お迎え前のランチに誘われた」「誘われない」「遊びに行こうと声をかけられた」「かけられない」などで一喜一憂する母親たち。高祖さんは「ストレスを感じるようなら、ママ友は、子どもを通じた、期間限定の付き合いだと割り切ってかわってほしい」とアドバイスする。

入園を機に、習い事や趣味の教室、再就職への準備など親も何か始めてみるのもお勧めだ。【山崎友記子】

▼明日は「グッス編」です。

てきた。

「いや、歌が救いなんです」

彼は、津波で奥さんとお子

さんを亡くした。さびしくて、

## 菜の花で釜石は満開

フォトジャーナリスト 山田周生さん(56)



日本一周を目指し、天ぷら油などをバイオディーゼル燃料で走る車に乗る。9年4月に東京を出発しました。11年花巻市の農家に到着した30分後、大暴れされました。2カ月後にはゴールの予定でしたが、旅を中止し、旅費を、の調達に充て県内の避難所を駆け回り、その後釜石市内で古民家を借り、回っています。震災から3年たっても支

沿岸部の被災した土地を耕し、菜の花をいませ。土壌の塩分を吸収させたり、肥料として活用したりして農地を再生させ、計3畝になりました。震災の翌春、黄色い花を見て、元の人の顔が忘れられません。5月になります。全国の皆さん、ぜひ一度、釜石に来てください。【聞き手・吉

にやった方がいい、と思いました。武山君のおかげで踏み切りがついたんです」

友情はいいな、と思った。

「大丈夫だと思えます。」

「大丈夫」

「大丈夫」